

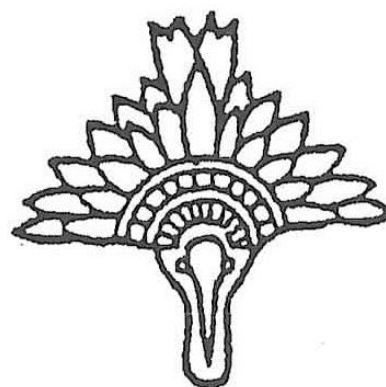
## 校章について

本校校章制定は、大正13年である。

鶴岡市本町一丁目地内にあった富久屋洋服店の店主の実兄で、現在の東京工芸大学教授西海幸一氏が図案を作成した。

全体的には鶴岡市のシンボル鶴を形どっているが、羽を菊の花弁で表現し、中央に第二尋常小学校の「二」の字が入っている。

菊は白菊のような潔さ、すがすがしさを意味し、また、羽の花弁は児童一人ひとりの個性が鶴の首の一点に集まり、共同一致、共存共栄という協力性を表している。〔学校沿革誌より〕



## 校旗について

- 1 大正13年、新穂真蔵氏（旧三日町）の寄贈による校旗があったが、終戦直後の昭和20年に当時の阿部全也教頭立ち会いのもとで焼却処分。（米軍進駐による）
- 2 PTA会長野沢嘉俊氏を中心に新しい校旗樹立の運動が盛り上がり、主として映画鑑賞会による利益金を財源として、当地方にはまれに見る立派な校旗が樹立された。

デザイン・色等は、元の校旗をそのままに復元したものである。昭和43年3月5日に樹立された。価格は12万円。〔学校沿革誌より〕

## 校歌について

- 1 大正 14.3.31～昭和 5.3.31 まで勤務された桜井文雄先生が作詞・作曲された「日輪の歌」があり、昭和 13 年頃まで親しまれ全校に愛唱されたが、これは桜井学級の生活歌として作られたもので、校歌として制定されたものではない。

〔鳥海良正氏・桜井文雄氏 談〕

- 2 昭和 30 年、本校職員堀浩一郎先生作詞・作曲による「希望の瞳」が校歌にかわるものとして、いわば準校歌として行事等の際に愛唱されてきた。以後も、制定された現校歌の対として愛唱されてきた。

- 3 現校歌は昭和 45.10.25（学区文化祭）の日に制定されたものである。

作詞：川上平太郎氏 朝二小第 14 回卒業生（大正 11.3 卒）

鳥居町出身、現在会津若松市本町 5-15 若松市竹田病院院長

アララギ派詩人、文化賞受賞

作曲：佐藤敏直氏 朝一小～鶴三中～鶴南高～慶応大工学部卒、作曲を志望。

昭和 34 年 NHK 毎日新聞音楽コンクール入選

神奈川県川崎市生田 6866（楽譜のデザイン：八幡加治雄 校長）

校 歌	
川上平太郎 作詞	一 庄内の野を 風わたり 青葉若葉の におう窓 声をそらえて 金峰を 呼べばさやかに 光が返る
佐藤 敏直 作曲	二 朝日にはえて 月山の 峰の白雪 清らかに 強く正しく 生きようと 我等の瞳 希望にもえる
三 赤川の水 ゆうゆうと まこと求めて 行く我等 聞け鶴岡の ま東に 明るくおこる この歌声を おお我が朝陽第二小	